

トヨタ純正

フロントスポイラー

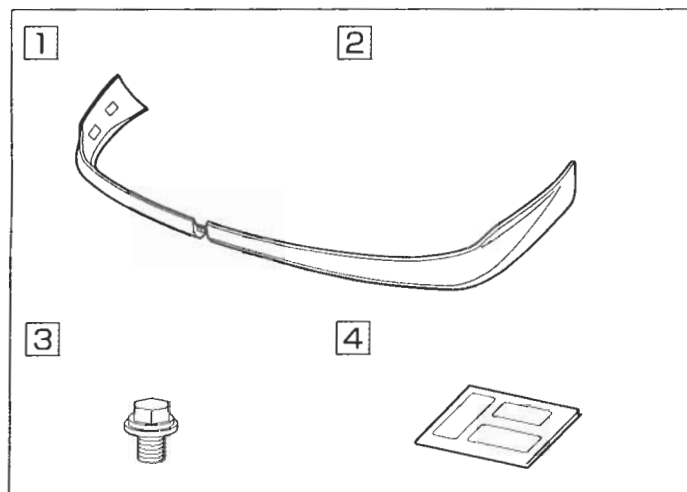
取付要領書

このたびはトヨタ純正「フロントスポイラー」をお買い上げいただきありがとうございました。
本書は「フロントスポイラー」を取り付ける場合の取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

品番	08154-47020
----	-------------

構成部品



No.	品名	品番	個数
1	フロントスポイラー-RH	—	1
2	フロントスポイラー-LH	—	1
3	ボルト	91653-40612	8
4	取付要領書	—	1

補給品番

品番	品名	構成部品
08154-47025	本体セット (RH)	本体 (素地)、③、④、フロントプロテクトモール (黒/グレー)
08154-47026	本体セット (LH)	本体 (素地)、③、④、フロントプロテクトモール (黒/グレー)
08154-47024	フロントプロテクトモール	④、フロントプロテクトモール (黒/グレー)
08154-47029	フィッティングキット	③、④



取付に必要な工具等

一般工具、エアードリル (φ3・φ7・φ9)、ケガキ針、マスキングテープ、粘着テープ、ウエス、ビニールシート

トヨタ自動車株式会社

取付上の注意事項

1. 取り付けの際、必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で本文中に記載してあります。

 注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

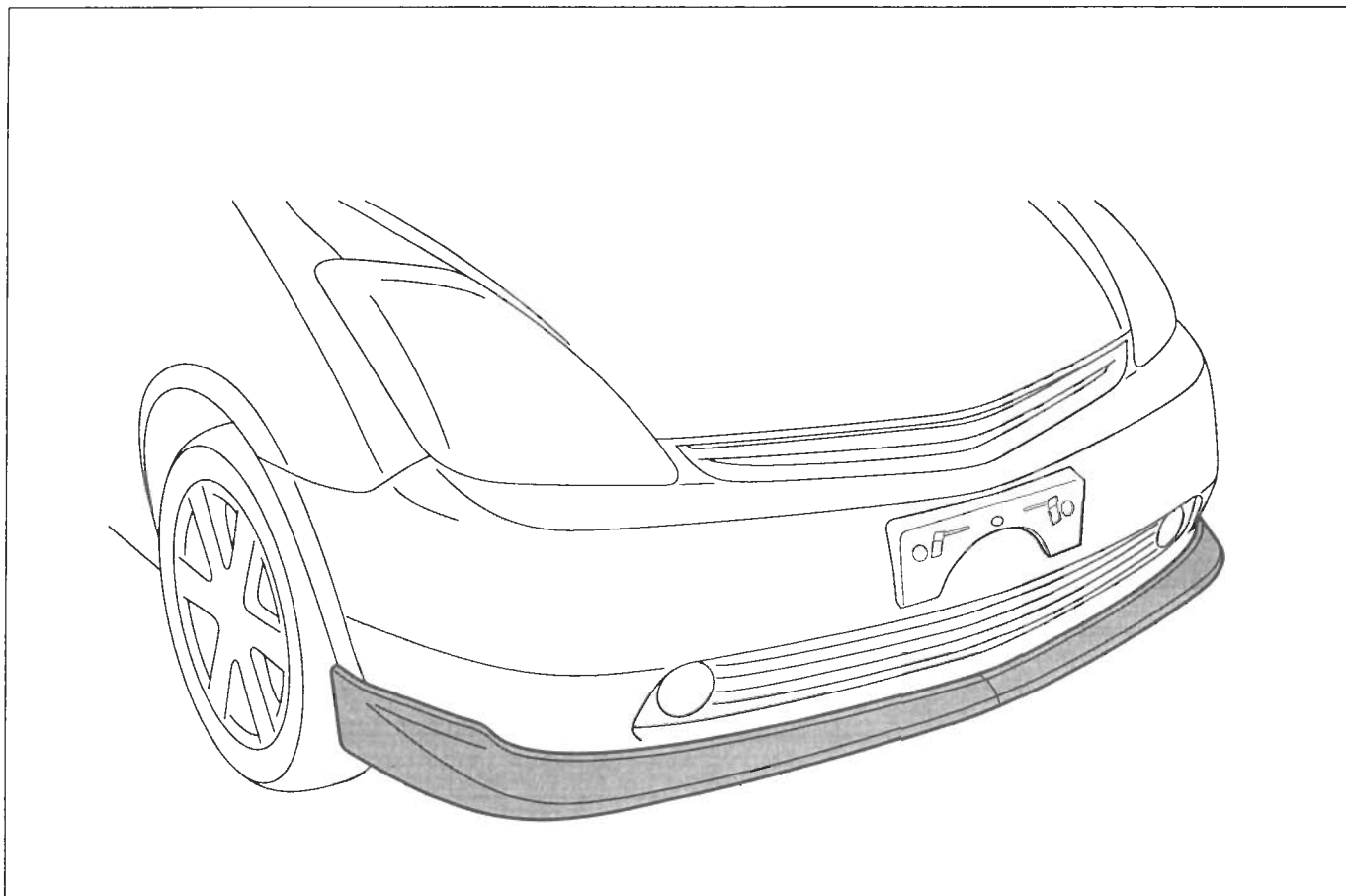
2. フロントフォグランプ装着車は車両バッテリーのマイナスケーブルを切り離してから作業をしてください。
3. 本書で指示した以外の車両部品は取りはずさないでください。また、車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリューやボルト、ナット類の紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元する際に間違えないよう配慮してください。
4. 作業中の傷つき防止のため、ビニールシート等を準備しておき、取り付け作業は必ずその上で行ってください。
5. 車両をジャッキアップ/リフトアップして作業する場合は、車両およびジャッキ/リフトの取扱書に従って安全な作業をしてください。輪止め、リジトラック等による車両の保持・支持は必ず実施してください。

ガレージジャッキの使用に当たって：

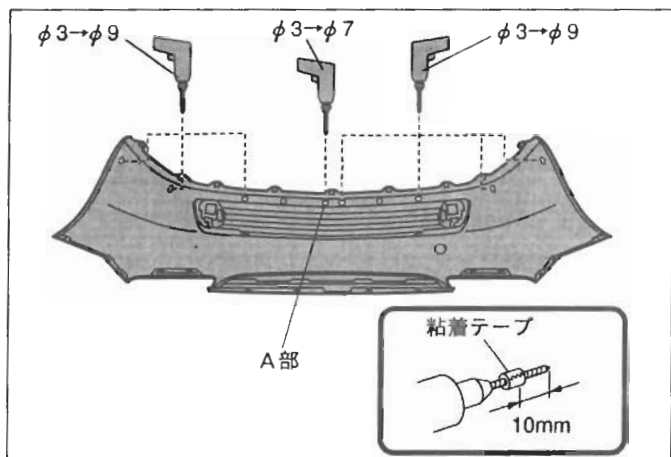
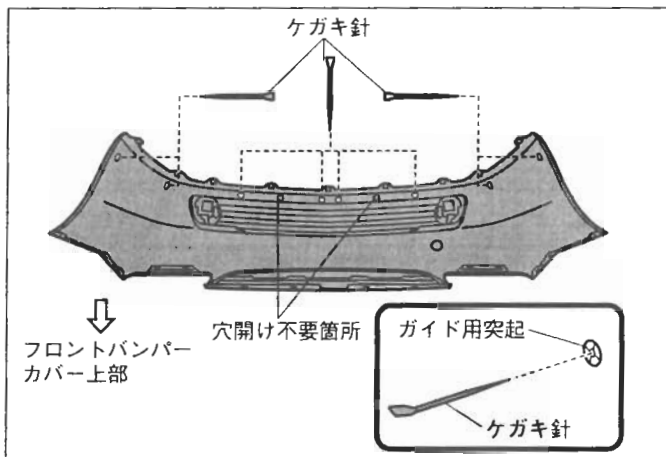
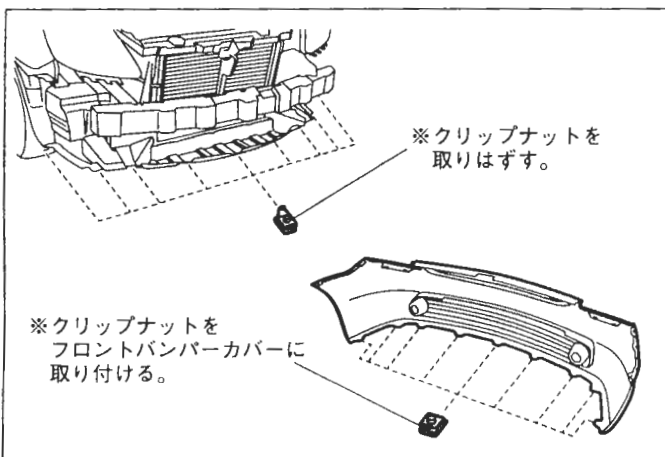
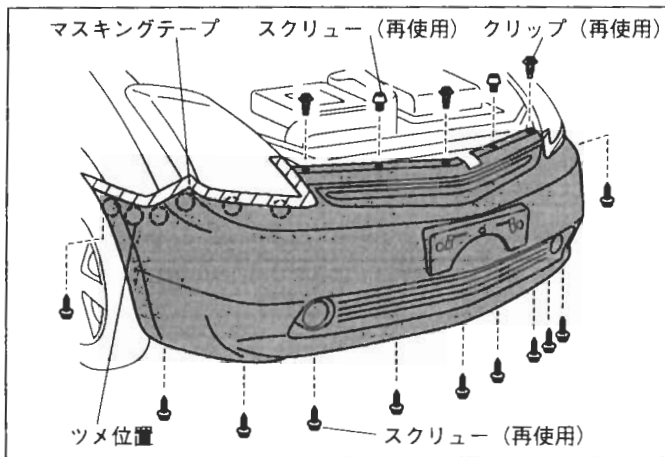
フロントスポイラーによって地面からのクリアランスが小さくなります。

ジャッキダウンした際にフロントスポイラーとガレージジャッキが干渉しないよう取り付け後のクリアランスを考慮した高さのガレージジャッキを使用してください。

取付概要



取付要領



1. 車両部品の取りはずし

(1) フロントバンパーカバーの取りはずし

- ① 傷付き防止のため、図の斜線部にマスキングテープを貼り付ける。
- ② フロントバンパーカバー上部のクリップ (3個) およびスクリュー (2本) を取りはずす。
- ③ フロントバンパーカバー下部および両端のスクリュー (11本) を取りはずす。
- ④ ツメのかん合 (12箇所) をはずす。
- ⑤ フロントフォグランプのコネクターを切り離す。(フロントフォグランプ装着車のみ)
- ⑥ クリップナット (9個) をエンジンアンダーカバーおよびフェンダーライナから取りはずし、図のようにフロントバンパーカバーに取り付ける。

アドバイス

取りはずした車両部品は再使用しますので、紛失しないようにご注意ください。

2. 取り付け作業

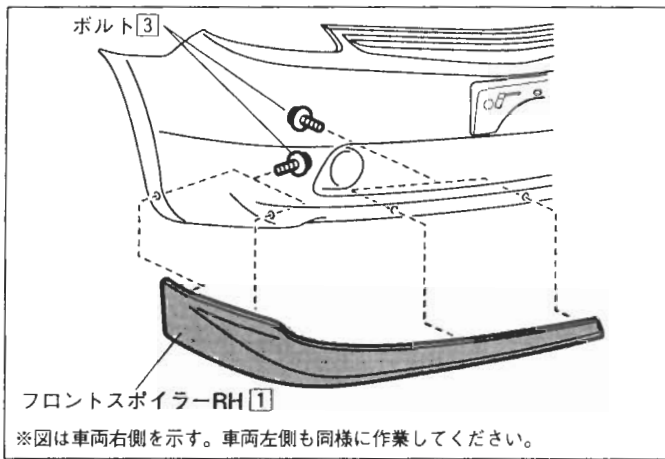
(1) フロントバンパーカバーの加工

- ① ケガキ針を使用して、フロントバンパーカバー裏側のガイド用突起 (8箇所) の中心に貫通穴を開ける。

アドバイス

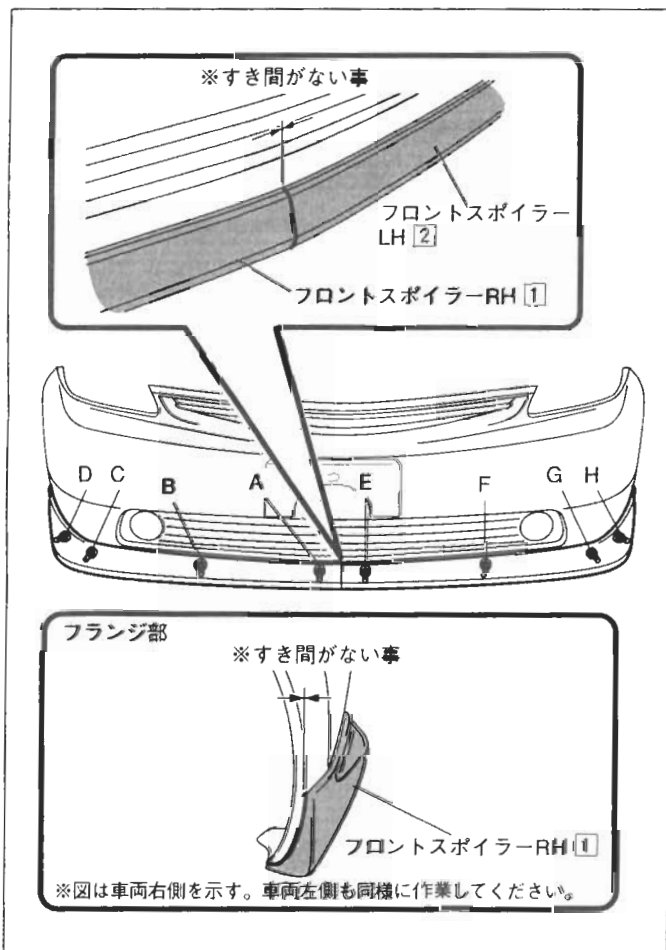
図に示す穴開け不要箇所 (2箇所) には、穴開け作業をしないように注意してください。

- ② 図のようにドリル (φ3・φ7・φ9) にストッパーとなるよう粘着テープを巻き付ける。
- ③ エアードリル (φ3) を使用して、フロントバンパーカバー裏側から貫通穴に下穴 (8箇所) を開ける。
- ④ エアードリル (φ7) を使用して、図示A部の下穴 (1箇所) に本穴を開ける。
- ⑤ エアードリル (φ9) を使用して、残りの下穴 (7箇所) に本穴を開ける。

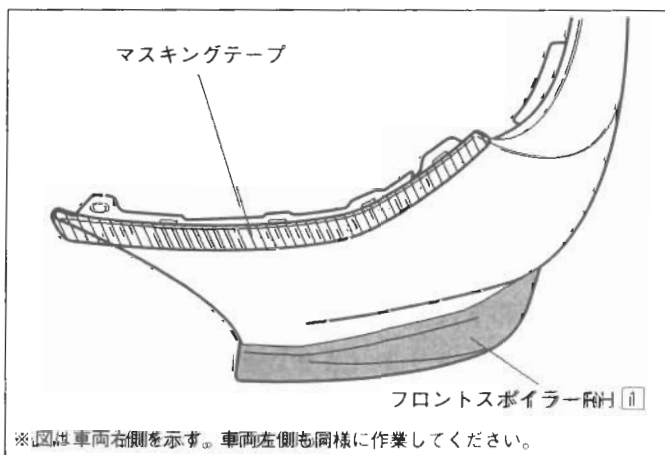


(2) フロントスポイラー取り付け

- ① フロントスポイラーRH 1をボルト 3 (4本) で仮締めする。
- ② フロントスポイラーLH 2をボルト 3 (4本) で仮締めする。

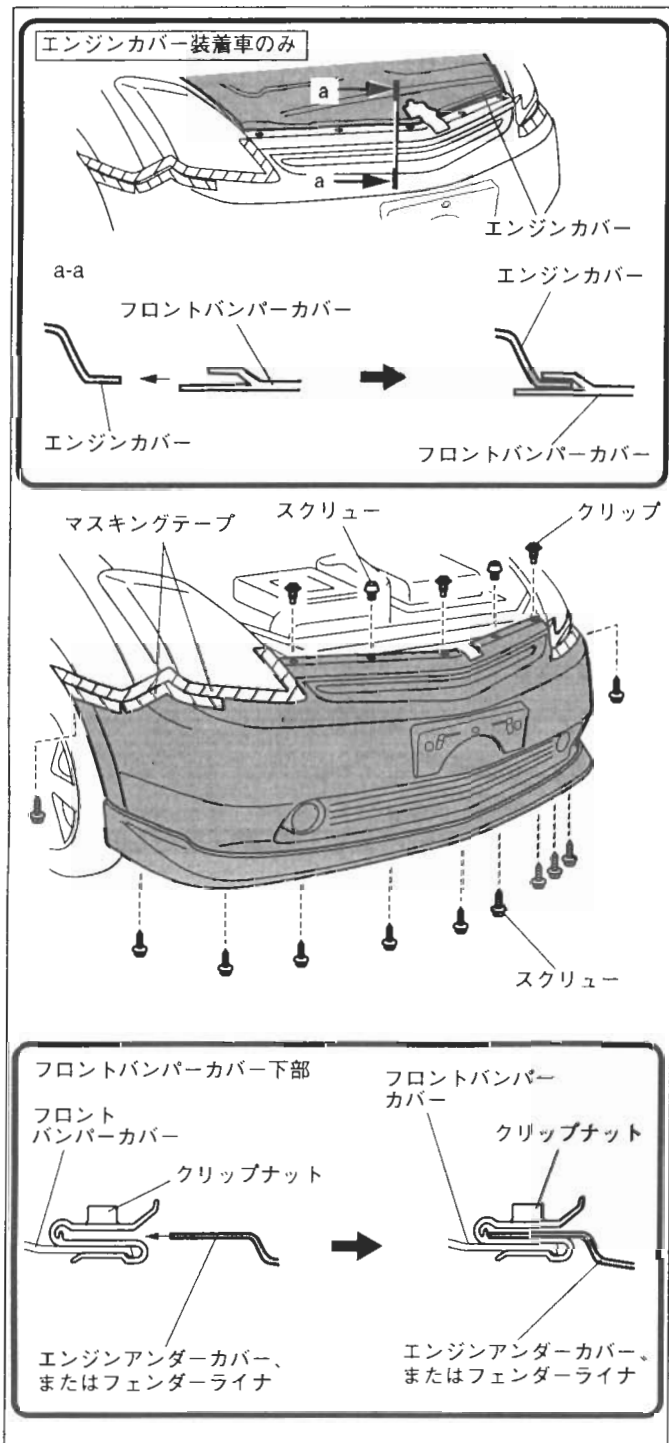


- ③ フロントスポイラーRH 1とLH 2との合わせ面および、フロントスポイラーRH 1、LH 2フランジ部とフロントバンパーカバーの合わせを確認しながら、図に示すA~Hの順番で、ボルト 3 (8本) を締め付ける。



(3) フロントバンパーカバー取り付け

- ① 傷付き防止のため、フロントバンパーカバーの図示斜線部にマスキングテープを貼り付ける。



- ② フロントフォグランプのコネクターを接続する。(フロントフォグランプ装着車のみ)
- ③ フロントバンパーカバーを車両に取り付ける。

アドバイス

エンジンカバー装着車のみ

図のようにフロントバンパーカバーをエンジンカバーに差し込んでください。

- ④ フロントバンパーカバー上部にクリップ（3個）およびスクリュー（2本）を取り付ける。
- ⑤ フロントバンパーカバー下部に取り付けたクリップナットにエンジンアンダーカバー、またはフェンダーライナを差し込む。
- ⑥ 傷付き防止で貼り付けたマスキングテープを取り除く。
- ⑦ フロントバンパーカバー下部および両端にスクリュー（11本）を取り付ける。

アドバイス

プロテクトモールとフロントバンパーカバーに隙間がある場合は、隙間がある箇所のボルト③を緩め、フロントスポイラーの取付位置を下げ、隙間を修正後、ボルト③を締め付けてください。

取付完了後の注意事項

⚠ 注意

フロントスポイラーが車両に確実に取り付けられていることを確認してください。

復元後の初期化作業

フロントフォグランプ装着車は、バッテリーのマイナスケープル接続後にパワーウィンドウ、バックドアロックおよびバックガイドモニター（工場装着オプション）の初期化作業を行ってください。

(1) パワーウィンドウの初期化作業

- ① イグニッションキーをONにする。
- ② 各ドアのウィンドウスイッチをUP操作してガラスが全閉停止後、さらに1秒以上スイッチを全閉操作（AUTO UP保持）操作する。
ただし、ウィンドウガラスが全閉状態の場合は、一度ウィンドウガラスを半分程度下降させてから初期化作業を行う。
- ③ 下記のいずれかの方法で初期化作業完了の確認を行う。
 - 各ウィンドウスイッチのインジケータ（マーク）が点滅から点灯になっていることを確認する。
 - 運転席のパワーウィンドウマスタースイッチで各ウィンドウガラスの開閉操作が可能になるか確認する。

(2) バックドアロックの初期化作業

- ① バックドアを閉める。（バックドアが開いている場合のみ）
- ② 運転席のパワーウィンドウマスタースイッチでロック／アンロック操作をする。
- ③ バックドアを手動で開けることが可能になるか確認する。

(3) バックガイドモニターの初期化（画面に「システム初期化中」が表示される）作業（ただし装着車のみ）

- ① イグニッションキーをONにする。
- ② シフトレバーを「R」レンジにする。（画面の表示がバックガイドモニターに切り替わります）
- ③ ハンドルを左右両方へ一杯に切る。
- ④ 画面の「システム初期化中」の表示が消え、予想進路のラインが表示されることを確認する。

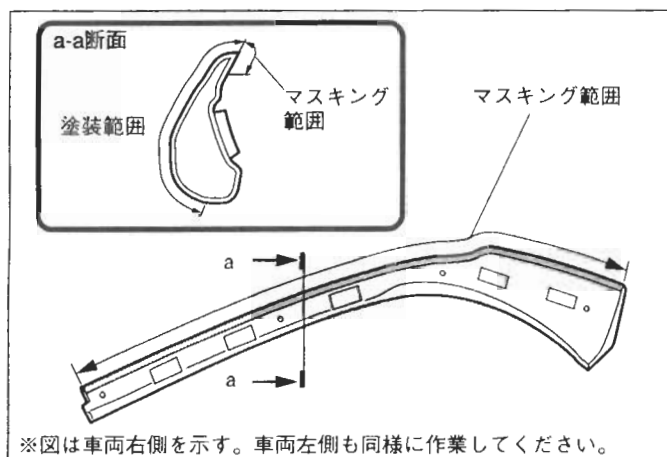
補修用品の取り扱いについて

取付部品

No.	品名	個数
①	フロントプロテクトモール (黒/グレー)	各1
②	ボルト	4

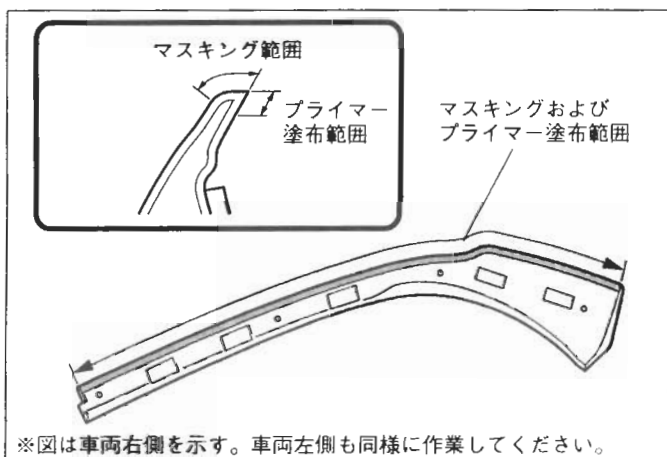
- 補給用フロントスポイラーの本体は、未塗装品となっています。したがってプロテクトモール貼り付け強度確保のため、下記内容に従って塗装時のマスキングおよび塗装後にプロテクトモールの貼り付けを行ってください。

加工要領



1. 塗装時のマスキング要領

- (1) フロントスポイラーの図示フロントプロテクトモール貼り付け部をマスキングする。
- (2) 塗装用プライマー処理後、a-a断面を参考に塗装を行う。

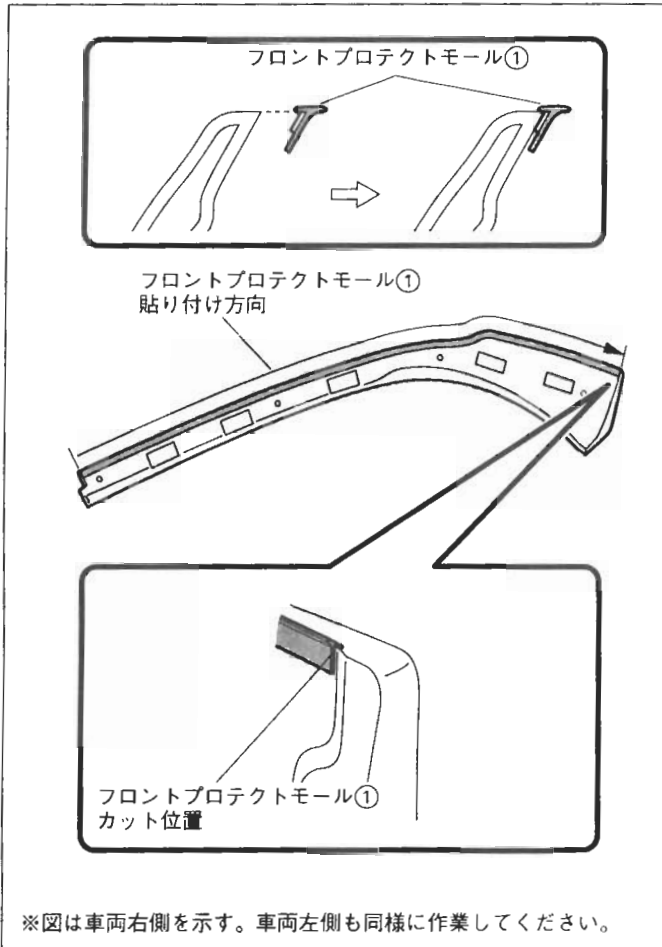


2. フロントプロテクトモールの貼り付け要領

- (1) フロントスポイラーの図示塗装面をマスキングする。
- (2) フロントスポイラーの図示部にプライマー（住友3MプライマーK-520）を均一に塗布し、乾燥させる。

アドバイス

プライマーが塗装面に付着すると塗装を痛めます。



- (3) 補修前に装着されていたフロントプロテクトモールと同色のフロントプロテクトモール①（黒、またはグレー）を準備する。
- (4) 図の要領で、フロントプロテクトモール①をフロントスポイラーの端末位置を基準に中央部から貼り付ける。
- (4) 図のフロントスポイラー端末の段差位置に合わせて、フロントプロテクトモールの余剰分をカットする。
- (5) 貼り付けたフロントプロテクトモールを49N {5kgf} 以上で圧着する。